別紙様式１

　　　　　　　　　　　推　　薦　　書

　宮崎大学医学部長　　　殿

　下記のとおり推薦いたしますので、よろしくお取り計らいください。

　　　　　　　　　　　　　　　　記

　１．氏名（生年月日）及び現職等

　２．雇用職名及び講座等名

 教授　　機能制御学講座応用生理学分野

　３．推薦理由

　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　推薦者　所属

職名・氏名　　　　　　　　　　　　　印

別紙様式２

 記入参考例（博士課程修了者の場合）

 履　　　　歴　　　　書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな | みやざき　たろう | 性　別 |
| 氏　　名 | 　宮崎　太郎 | 男 |
|  生年月日 |  １９○○年○○月○○日　生　（満○○才） |
|  現 住 所 | 　宮崎市清武町木原５２００ |

 学歴（高等学校卒業から記入のこと。）

|  |  |
| --- | --- |
|  　年　月 | 　　　　　　学校名・学部学科名及び卒業・修了等の別 |
|  1994.3 1994.4 2000.3 2002.4 2006.3 | 　・・・・・・・・県立・・・・・高等学校卒業　・・・・・大学医学部医学科入学　同上卒業　・・・・・大学大学院医学研究科博士課程入学　同上修了 |

 免許・資格

|  |  |
| --- | --- |
|  　年　月 | 　　　　　　事　　　　　　　　　　　　　　項 |
|  2005.5 2005.5 2006.3 2011.3 2013.3 2015.3 | 　第・・・・回医師国家試験合格　医師免許取得（医籍登録第・・・号）　医学博士（・・・・大学第・・・号） ○○認定医 ○○指導医　○○専門医 |

 職歴及び研究歴（事項ごとに始期と終期を明らかにすること。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  　年　月 | 　　　　　　事　　　　　　　　　　項 | 　発令庁等 |
|  2000.4 2001.3 2001.4 2002.3 2004.4 2005.1 2005.22009.3 2009.4 2010.3 2010.4 | ・・・・・大学卒後臨床研修センター研修医同上退職県立・・・・・病院研修医同上退職・・・・・大学医学部附属病院医員（・・・・・科）同上退職国立・・・・・病院医師（・・・・・科）同上退職・・・大学医学部研究生入学同上退学　・・・・・大学医学部附属病院助手（・・・・・科）現在に至る | ・・大学病院長・・・病院長・・・病院長・・・病院長・・・大学長・・・大学長 |

 学会及び社会における活動

|  |  |
| --- | --- |
|  　年　月 | 　　　　　　事　　　　　　　　　　　　　　項 　 |
|  2000.6 2001.3 2004.3 2005.5 | 　日本・・・・・学会会員、現在に至る　日本・・・・・・学会会員　同上退会　日本・・・・・・・学会会員、現在に至る |

賞　　罰

|  |  |
| --- | --- |
| 年　月 | 事　　　　　　　　　　　　　　項 |
|  | 特になし |
|  　　上記のとおり相違ありません。　　　　　　　　　　　　年　　月　　日　 　　　　　　　　　　　氏　　名　　宮崎　太郎　　　印 |

 　　　※業績の有無（該当するものに○印をつけること。）

|  |  |
| --- | --- |
|  １．著書 |  有（別紙様式２の１に記入）　　無 |
|  ２．学術論文 |  有（別紙様式２の２に記入）　　無 |
|  ３．学会発表 |  有（別紙様式２の３に記入）　　無 |

別紙様式２

 履　　　　歴　　　　書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな |  | 性　別 |
| 氏　　名 |  | 男・女 |
|  生年月日 |  　　　　年　　月　　日　生　（満　　才） |
|  現 住 所 |  |

 学歴（高等学校卒業から記入のこと。）

|  |  |
| --- | --- |
|  　年　月 | 　　　　　　学校名・学部学科名及び卒業・修了等の別 |
|       | 　　　　　 |

 免許・資格

|  |  |
| --- | --- |
|  　年　月 | 　　　　　　事　　　　　　　　　　　　　　項 |
|     | 　　　 |

職歴及び研究歴（事項ごとに始期と終期を明らかにすること。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　月 | 事　　　　　　　　　　　項 | 発令庁等 |
|  |  |  |

 学会及び社会における活動

|  |  |
| --- | --- |
| 年　月 | 事　　　　　　　　　　　　　　項 |
|  |  |

賞　　罰

|  |  |
| --- | --- |
| 年　月 | 事　　　　　　　　　　　　　　項 |
|  |  |
|   　　上記のとおり相違ありません。　　　　　　　　　　　　年　　月　　日　 　　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　印 |

 　　　※業績の有無（該当するものに○印をつけること。）

|  |  |
| --- | --- |
|  １．著書 |  有（別紙様式３の１に記入）　　無 |
|  ２．学術論文 |  有（別紙様式３の２に記入）　　無 |
|  ３．学会発表 |  有（別紙様式３の３に記入）　　無 |

業績目録の記入要領

１．業績目録は、１．著書、教科書、２．学術論文、３．学会発表の３大区分とし、

　　後記の各小区分に従い、それぞれの用紙の欄外に示してある様式に従って記載

　　してください。

　　※該当するものがない場合は「特になし」と記入してください。

　　※用紙不足の場合は通常のコピー用紙A４で複写して使用してください。

２．大区分毎に、和文、欧文等の区別無く、著者名は、論文等に記載の順に全員を記載し、

　　本人氏名に下線を付してください。各業績間は１行あけてください。

３．学術論文は学術誌に既発表（掲載受理を含む）のみとします。

　　原著・症例報告・総説の３小区分とし、現在から順に発表年を過去に遡り記入して

　　ください。

　　①提出する別刷の右上に番号を付し、その番号と同じ番号（例①②）を論文の通し

　　　番号の左に記入してください。

　　②欧文論文の記載はPubMedに準じてください。

　　③corresponding author には著者名の後に＊を付けてください。

　　④最後に、査読の有無を、[査読有]または［査読無］として示してください。

４．学会発表は、学術団体主催の国際学会及び全国規模国内学会について、本人演者のみを記載してください。特別講演、教育講演、招待講演、シンポジウムなど当該学会での講演種名を（Plenary Lecture）、（Invited Lecture）、（教育講演）、（シンポジウム）などとして、演題名の後に記載してください。

一般講演は除いてください。

５．全業績目録は提出書類として一冊に纏めて綴じ、通し頁番号を付してください。

別紙様式３の１

業　　績　　目　　録（記入参考例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  １　著書，教科書 | 氏名 | 　宮崎　太郎 |
|  | 番号 | 著者名：題名．書名．編集者名．出版社名，始－終頁（年） |
| １2 | Miyazaki T, Hyuga I. Cryofixed freeze substitution of mammalian tissue culture cells. In Eisenbach N, Osafune K, eds. Immuno-Electron Microscopy. Springer. 2010;233-240.宮崎太郎．第1章　細菌とは．清武二郎，宮崎太郎(編)．医科細菌学　改訂第4版．日向出版．2009;1-17 |

別紙様式３の２

業　　績　　目　　録（記入参考例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ２　学術論文(原著，症例報告，総説の順に記入すること。) | 氏名 | 　宮崎　太郎 |
|  | 番号 | 著者名：題名. 学術雑誌名 (Index Medicus)，巻：始―終頁（年）[査読の有無] |
| ①１２ １２３　１ | 原著Miyazaki T, Hyuga I\*. High-pressure freezing provides new insights into fine structure and subcellular localization of H+/K+-ATPase in gastric parietalcells. J Histochem Cytochem. 2016;18:57-66. [査読有]　・・・・・・・・・・・・・症例報告Oyodo R, Miyazaki T, Kibana H, Hyuga I\*. Successful laparoscopic management of chylous ascites following laparoscopic radical nephrectomy. Int J Urol. 2015;45:519-521. （直接指導論文） [査読有]宮崎太郎，木花姫子，清武二郎\*．腎癌との鑑別が困難であった腎門部Schwannomaの１例．泌尿器科紀要．2008;32:519-521．[査読有] 　・・・・・・・・・・・・総説木花姫子，宮崎太郎，日向一郎\*．ゲノム解析から見えてきた腸管出血性大腸菌の毒素及び病原因子の新知見．化学療法の領域．2013;18:367-377．[査読無] |

別紙様式３の３

業　　績　　目　　録（記入参考例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ３　学会発表（本人演者のみ。）※教授・准教授・講師選考の場合は一般講演を除き，助教・助手選考の場合は一般講演を含む | 氏名 | 　宮崎　太郎 |
|  | 番号 | 発表者：演題名(講演種名)．学会名，開催場所，開催国（国際学会のみ記載） （発表年） |
| １２３ | 宮崎太郎：ヒト腸内細菌叢のメタゲノム解析（シンポジウム）．第81回日本細菌学会総会，京都（2014）Miyazaki T, Kibana H, Kiyotake J. The functional transformation of gastricparietal cells (Invited Lecture). 13th International Microscopy Congress, Sapporo, Japan (2011) ・・・・・・・・・・・・・ |

別紙様式３の１

業　　績　　目　　録

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  １　著書，教科書 | 氏名 | 　 |
|  | 番号 | 著者名：題名．書名．編集者名．出版社名，始－終頁（年） |
|  |  |

 　　　　　－　　－

別紙様式３の２

業　　績　　目　　録

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ２　学術論文(原著，症例報告，総説の順に記入すること。) | 氏名 | 　 |
|  | 番号 | 著者名：題名. 学術雑誌名 ( Index Medicus) ，巻：始―終頁（年）[査読の有無] |
|   |  |

番号の左側の○については，提出のあった論文別刷の通し番号を指します。

corresponding authorには＊を付しています。

 　　　　　　　　　－　　－

別紙様式３の３

業　　績　　目　　録

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ３　学会発表（本人演者のみ。）※教授・准教授・講師選考の場合は一般講演を除き，助教・助手選考の場合は一般講演を含む | 氏名 | 　 |
|  | 番号 | 発表者：演題名(講演種名)．学会名，開催場所，開催国（国際学会のみ記載） （発表年） |
|  |  |

 　　　　　－　　－

別紙様式４

研　究　業　績　の　集　計（記入参考例）

　　　　著書、教科書

　　　　　　欧文　○○冊（うち単著又は筆頭著者○○冊）

　　　　　　和文　○○冊（　　　　〃　　　　○○冊）

　　　　学術論文

　　　　　　原著　　　欧文　○○編（うち筆頭著者又は責任著者○○編）

　　　　　　　　　　　和文　○○編（　　　　〃　　　　　　　○○編）

　　　　　　症例報告　欧文　○○編（　　　　〃　　　　　　　○○編）

　　　　　　　　　　　和文　○○編（　　　　〃　　　　　　　○○編）

　　　　　　総説　　　欧文　○○編（　　　　〃　　　　　　　○○編）

　　　　　　　　　　　和文　○○編（　　　　〃　　　　　　　○○編）

　　　　学会発表（本人演者のみ。一般講演は除くこと。）

　　　　　国際学会

　　　　　　特別講演　　　　○○回

　　　　　　シンポジウム　　○○回

　　　　　　パネル・ディスカッション

　　　　　　　　　　　　　　○○回

　　　　　　ワークショップ　 ○○回

　　　　　国内全国学会

　　　　　　特別講演　　　　○○回

　　　　　　教育講演　　　　○○回

　　　　　　シンポジウム　　○○回

　　　　　　パネル・ディスカッション

　　　　　　　　　　　　　　○○回

別紙様式５

主要論文１０編の概要（記入参考例）

|  |  |
| --- | --- |
| 番号 |  　　　　著者名：題名、発表誌名．巻：始─終頁（発行年）等 |
|  | Imoto Y, Akita M, Churg J: Tumor necrosis factor-α mediates diabeticbeticwound healing. Am J Pathol 164:234-243 (2005)  |
|  概　　要（全角換算で500字以内厳守）　本論文は、Imotoが糖尿病の創傷治癒における tumor necrosis factor-α　の役割を・・・・・・・役　　割： |

 （記入上の注意）

　１　主要論文１０編の概要を記入し、「番号」欄に①～⑩を付してください。

　２　業績目録の「番号」欄の通し番号の左に１０編の主要論文に付した番号

①～⑩と同一の番号を付してください（業績目録の記入例参照）。①～⑩

の順序は現在から過去にさかのぼって記載してください。

　３　Impact Factor（２０１８年）を記載してください。

　４　筆頭著者、責任著者以外の場合は役割を明記してください。

別紙様式５

主要原著論文１０編の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 番号 |  　　　　著者名：題名、発表誌名．巻：始─終頁（発行年）等 |
|   |   |
|  概　　要（全角換算で500字以内厳守）役　　割： |
| 番号 |  　　　　著者名：題名、発表誌名．巻：始─終頁（発行年）等 |
|   |   |
|  概　　要（全角換算で500字以内厳守）　役　　割： |

 　　　　　－　　－

別紙様式６

**研究費採択状況**（記入参考例）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 宮崎　太郎 |
| 番号 | 年度 | 助成金等の名称 | 役割（代表･分担） | 研究課題名 | 交付金額 |
| （千円） |
| 1 | H22-H23 | 科学研究費・基盤研究（Ｃ） | 代表 | ＊＊＊＊に関する研究 | 3,000 |
| 2 | H24 | 厚生労働科学研究費・難治性疾患等政策研究 | 分担 | ○○○○に関する研究 | 200 |
| 3 | H26 | 科学科研費・挑戦的萌芽研究 | 代表 | ＄＄＄＄に関する研究 | 1,500 |
| 4 | H28-H30 | 難治性疾患等実用化研究事業（日本医療研究開発機構） | 代表 | ＃＃＃＃に関する研究 | 5,000 |
| 5 | H26-H29 | 科学研究費・基盤研究（Ａ） | 分担 | △△△△に関する研究 | 4,500 |
| 6 | R元 | □□財団・研究助成金 | 代表 | ＊＊＊＊＊＊＊＊ | 1,500 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 　 |  |  |  |  |  |
| 合　　計 | 15,700 |

※複数年度にわたる場合、まとめて１件として記載する。（交付金額は複数年度の総額を記載する）

※交付金額は直接経費、間接経費の総額を記載する。

※分担者の場合は、分担金額を記載する。

別紙様式６

**研究費採択状況**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| 番号 | 年度 | 助成金等の名称 | 役割（代表･分担） | 研究課題名 | 交付金額 |
| （千円） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 合　　計 |  |

※複数年度にわたる場合、まとめて１件として記載する。（交付金額は複数年度の総額を記載する）

※交付金額は直接経費、間接経費の総額を記載する。

※分担者の場合は、分担金額を記載する。

**応募者へお願い**

この度は、本学教員選考に応募いただきありがとうございます。

さて、本学では応募者及び推薦者に選考の結果を通知しておりますので、下記に応募者及び

推薦者の住所等を記入願い、応募書類と共に送付をお願い申し上げます。（推薦者の数に応

じて御記入ください）

**応募者**　氏名

　　　　住所　〒

携帯電話番号

E-MAILｱﾄﾞﾚｽ

**推薦者**　氏名

　　　　住所　〒

所属・職位等

**推薦者**　氏名

　　　　住所　〒

所属・職位等

**推薦者**　氏名

　　　　住所　〒

　　　　所属・職位等